

20180403 版

湯川秀樹「研究室日記 昭和十九年九月～昭和廿年三月 IX」(s04-19-13)の一部

湯川秀樹「研究室日記 昭和廿年三月～昭和廿年九月 X」(s04-19-14)の一部

昭和廿年

3月1日(木)

朝、素粒子学講義。

特別科学教育の件にて、科学局長及び菅井氏に速達を出す。

3月2日(金)

午後三回生演習。高木君、カシミールほとんど終了。

3月3日(土)

午後理論談話会、

鈴木君 Fierz und Wentzel, Deuteron-Problem

晩 独逸文化研究所にて、豊増氏の Beethoven Piano Sonata を聴く

3月4日(日) 春雨 少々暖かし

昼過ぎ坂田氏来宅。

午後、矢倉氏宅へ行く。澄子同伴。

午前 B29 150 機帝都に来襲、雲上より盲爆

3月5日(月) 暖か

朝9時7分発の汽車にて佐久米に向かう、途中、岡崎

付近に故障あり、刈谷にて長時間待たさる、

一旦名古屋に引返し、また豊橋に行き、豊橋駅

にて、夜を明かす。

<注：佐久米＝静岡県浜松市北区三日目町佐久米>

3月6日(火) 朝6時7分豊橋発 二俣線

にて7時佐久米着、茂楽旅館に行く。  
長谷川、速水両中尉に遭ふ。野田少佐  
にも面会 □夜来、風雨強し。旅館から  
浜名湖はすぐであるが、波立ってゐる。今日  
は実験中止、午前中と、昼過ぎと一寸昼寝。  
午後三時ごろ、琴水に平田森三氏を訪問。  
晩、茂楽に帰る。

3月7日(水) 茂楽に居る。朝、長谷川、速水、松岡、  
神山、工藤氏などと調べる。午後天神山を廻る。  
五時半頃より、天神山にて測定見学。茂楽に帰る。

3月8日(木)  
朝、長谷川中尉と茂楽を出て浜松に向かう。浜松高工  
を見学、バスにて午後4時過、舘山寺着。舘山寺ホテル  
に泊まる。測定見学 野村少将等と会談。

<以上 研究室日誌 IX。 以下 研究室日誌 X (s04-08-14) >

3月9日(金)  
朝 舘山寺ホテルを出て、浜松駅より下り11時36分  
発列車に乗る。午後9時過ぎ無事帰宅。少しく雨  
降り、電車を待つ間長し。

3月10日(土) 又寒くなる 小雪  
登校、午後一時教室相談会。大学院第二期  
生の件など。  
午後二時 より 理論談話会 谷川君、  
Wentzel, Vektormesentheorie (Helv. 1943)  
① 今朝午前零時 B29 約130機帝都来襲、各所  
に火災発生、被害甚大の模様

3月11日(日)  
家居。澄子今日も引き続き夕方7度5分。  
小生も旅の疲れが出て来たらしい。

3月12日(月)

登校。

午後 Eckart, 谷岡氏来室、惣郷氏来室、  
坂田氏来宅。

② 今朝午前零時 B29 約 130 機、名古屋に来襲。  
焼夷弾投下

3月13日(火) 登校 午後野間氏と吉田山へ家を見に行く。

三月十日、仏印共同防衛の実なし 皇軍

単独にて防衛

安南国独立 翌12日にはカンボジアも

独立

3月14日(水)

③ 昨 夜半、B29 約 90 機大阪に来襲、雲上  
より盲爆 火災発生

朝起きて見ると、空が暗く黄色い 雨降り  
出す。後で聞けば、大阪の火事の煙が原因  
らしい。

登校。

午後、名古屋・宮部氏電話で聞けば坂田氏宅焼  
失の由。夜遅く電話にて、御影へ知くらす

3月15日(木)

登校。素粒子学講義。

午後一時廿分の汽車にて京都発 四時廿分

姫路着、緒方姫路高校長 荒木教授 出迎へ。

駅前 菊水旅館に宿泊

3月16日(金)

よいお天気で日差しは暖かい 風は冷たい。朝、菊水を出て 荒木教授の案内で、姫路高  
校へ行く。十時より十一時半まで文化講義、「輓  
近の物理学」。昼食後 比企教授の案内にて

白鷺城見学、西の丸より天守閣上まで一順<巡>。

14時12分姫路発大阪行列車に乗る

帰りに大阪駅で下車。胃腸病院を見舞う。北浜一

帯は無事で安心。電車はまだ通らぬ。

8時前に帰宅。

3月17日（土）

④ 午前二時ごろより、B29 約 60 基神戸に来襲  
焼夷弾投下 友軍機及び高射砲の健  
闘にて20機を撃墜 他のほとんど全部に  
被害を与へたり。

登校。午前三回生演習。Kemmer 続き、  
小梶君。

午後、理論談話会、

G. Wentzel, Zum Deuteronproblem II  
(Helv. 17 (1944) 252)

晩、ドイツ文化研究所に、Schneider の List 演奏をきく

3月18日（日） 今日もまだ真冬のように寒い。

朝、敵機動部隊来襲 九州南部に主力、一部は四国方面 和歌山  
方面に来る、総計 140 機。

今朝 聖上陛下 帝都戦災地御巡幸

3月19日（月）

引続き艦載<機>来襲。

登校。谷川氏父君死去の報あり。野間君に弔問に行つて貰ふ。

午後教授会。

本日二時ごろ百数十機 名古屋来襲。

昨 18 日中の航空部隊戦果（判明分）。

撃沈：制式空母 一。戦艦（または空母）一

戦艦（巡洋艦）一。駆逐艦 二。

撃破 制式空母一。その他

撃墜：46 機。

3月20日（火） 大分暖かい。

登校。

3月21日（水） 気温 14 度。

登校。

本日硫黄島将兵玉砕の報あり。米兵殺傷  
三万三千に上る  
栗林中将の辞世。  
国の為 重きつとめを 果し得て 矢弾尽き果て 散るぞ  
口惜し  
仇討たて 野辺には朽ちじ われは又 七度生れて 矛  
を執らむぞ  
醜草（しこぐさ）の 島に蔓る 其の時の 皇国の行手 一途に思ふ  
井上儀三郎氏 16 日死去のよし。

3 月 22 日（木） 気温 15 度  
登校。素粒子学講義。きょうで一応終り。  
午後、教室相談、防空の件など。

3 月 23 日（金）  
午後三回生演習。  
安藤君 Internal Conversion, Hulme,  
Taylor, Mott

3 月 24 日（土） 又少し寒い。神殿町宅 第二防空壕掘りはじめる。  
午前、三回生演習。小梶君  
Kemmer, Bose-Einstein Particle 終了。

新鋭特殊潜航艇/神潮隊の戦果発表。  
菊水隊 19. 11. 20。西カロリン、金剛隊中部太平洋及び  
ニューギニア方面

3 月 25 日（日） 今暁 0 時、130 機の B29 名古屋に来襲。  
午後一家四人、東山銀閣寺まで行く。  
帰って窓硝子に、セロファン紙を貼る。  
表の防空壕掘り進行中。

3 月 26 日（月）  
登校  
午後四時より特別科学教育協議会 総長室にて  
開催。

珠樹氏来宅。夕食 一泊。

3月27日(火)

登校。

B29、150機北九州に来襲。

米機動部隊沖縄本島に来襲

一部の兵力をもって慶良間列島に上陸

3月28日(水)

登校。午前中、井上健、市村照夫両君来室

3月29日(木)

登校。

3月30日(金) 大変暑い。午後20度に達す

朝8時半新京極にて小林君と一緒に

池田へいく。池田斎場にて、岡谷氏告別式。

腎臓炎のところ狭心症にて、急逝の由。

阪大へ回り、伏見氏の室にて、昼食。屋上にて

焼跡を展望、5時帰宅

3月31日(土) 矢張り暑い。

朝登校。駒井学部長室にて下田教授と

科学教育研究班の打合せ。

澄子、井上満枝さんの宅訪問。

南西諸島に於て航空部隊 米艦隊 船90隻を撃沈破。

4月1日(日)

午後、登校。理学部長室に集合。生物教室にて新

入学生に対し、学部長より訓示。

今朝、敵、沖縄本島に上陸開始。同方面に於て

本日までに撃沈破せる艦船総計105隻

4月2日（月）

登校。

4月3日（火）

今朝一家六人遠足。祇園、圓山、清水、本願寺。

二時頃帰宅。谷川氏来宅

4月4日（水） また急に寒くなる。終日曇り。

午後、量子力学講義開始。

秋田屋八束氏に、素粒子論文集の件依頼。

沖縄方面航空部隊戦果総計、艦船撃沈破

190 隻

4月5日（木）

素粒子論講義続講。

小磯内閣総辞職

四月六日（金）

朝、子供二人つれて登校。大学新聞「理論物理学」原稿送付。

午後 三回生演習。 Bethe, Nuclear Physics

B 第1回、高木君。

鈴木貫太郎枢府議長に大命降下。

四月七日（土）

朝9時過ぎ空襲警報。十一時ごろ敵B24らしき十数機の編隊、研究室の頭を通過、東北に転進。

午後、坂田氏来室。

理論談話会、小林君、Stueckelberg, Un modele de l'electron ponctuel II

鈴木内閣成立。

四月八日（日）

午後、西下武夫氏来訪。

独逸文化研究所講演の独文原稿書き始める。

沖縄水域戦果、撃沈破 34 隻総計 245 隻

四月九日（月）

登校

四月十日（火）

登校

四月十一日（水）

登校

四月十二日（木）

登校。素粒子論講義。長谷川寛君来室

四月十三日（金）

登校。昼前、新二回生 理論専攻 7 名（+1 名  
中山）集合打ち合わせ。

午後はずっと明日の講演のタイプ打つ。帰りに  
独逸文化研究所へ寄り 大山氏に原稿渡す。

四月十四日（土）

九時独逸文化研究所に行く。9 時半、日独文化学術会議、  
開会式 10 時半より講演、” Was ist das

Mesotron” と題し、独逸語にて 25 分間位講演。

独逸人達と一緒にミヤコホテルにいき、一緒に昼食。

米大統領ルーズヴェルト[ママ]4 月 12 日 15 時 35 分（日本時間  
13 日 5 時 35 分）脳溢血にて急死。後任は副大統領  
トルーマン。

沖縄方面 海空部隊再び総攻撃開始、既に  
撃沈戦艦 2 隻 撃破空母 3 隻等の戦果あり。

13 日夜半頃より B29、170 機帝都来襲 宮城 明治  
神宮、市内各所に火災発生の由。

南西諸島邀撃[ようげき]戦果（3.23 から 4.13）

撃沈 178（+4） 撃破 144 総計 326



四月十六日（月）

午後、楽友会館にて、特別科学教育班員会合。夕食後、  
晩、独逸文化研究所にて、日独交歓会。

四月十七日（火）

登校。午後、赤外線研究会。荒木、小野、金井  
三君出席

四月十八日（水）

登校。午前、核分裂研究会。小林、野間、鈴木  
三君出席。  
午後、中村誠太郎君来室。量子力学講義。

大本營発表、沖縄本島東方海上にて航空部  
隊 米空母 5 隻等撃沈

四月十九日（木）

午後 量子力学講義

四月廿日（金）

四月廿一日（土）

午後理論談話会。鈴木君  
Coester, Stabilitaet der Atonkerne in der  
Mesontheorie (Helv. Phys.)

四月廿三日（月）

午後 理論談話会。小林君、Stuckelberg  
続き。  
東京 本郷兄より東片町宅 13 日空襲にて  
焼けた由報告あり

四月廿四日（火）

午後、新二回生演習。  
Sommerfeld 第 1 回、寺本君

四月廿五日（水）

午前、駒井教授に面会 試験委員辞退。

午後量子力学講義。

晩、瓢亭にて 小堀 藪内両君、学位受領  
祝賀会。木村、田中、森、岡村 計七人  
出席。

3月以降、4月15日までの罹災状況

東京51万戸 210万人。大阪13万戸 15万人

名古屋6万戸 27万人。神戸7万戸 26万人

四月廿六日（木）

朝、素粒子学講義

四月廿七日（金）

午後 三回生演習。Bethe B、高木君

四月廿八日（土）

午前 三回生演習。

小梶君 Zum Problem des statischen  
Mesonfeldes

四月卅日（月）

午後教授会